

令和2年度決算を審査

一般会計決算等を認定

決算関係議案の提案

9月13日に開催された本会議において、一般会計決算等7議案が提案されました。

決算特別委員会の設置

議会は、9月13日の本会議において、各会派から選出された委員9名(委員名簿参照)からなる令和2年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会(以下「決算特別委員会」という)を設置し、これらの審査を付託しました。

決算特別委員会における審査

決算特別委員会では、9月13日、21日、22日、24日、27日、28日、10月1日の7日間にわたり、正・副委員長を選任、予算審査における議会の指摘事項の反映状況や、第三次鎌倉市総合計画第四期基本計画実施計画の諸施策の進捗状況などを中心に、予算の適正な執行と、その行政効果について担当部課への質疑等を行うとともに、重要課題については市長に出席を求め、その見解をたどりました。

審査後、採決を行い、一般会計決算、国民健康保険事業特別会計および後期高齢者医療特別会計の3つの意見が

○防災に関する取り組みについて

コロナ禍における、子どもたちの学習環境や家庭環境の変化に対し、児童・生徒一人一人の悩みに寄り添ったきめ細やかな相談・対応や、経済

的支援を求める。また、放課後の居場所について、「放課後かまくらっ子」においては、指定管理者による運営状況の把握を行うとともに、地域においても多様な放課後の居場所づくりを求める。そのほか、通学路の危険箇所について、早急な安全対策の実施を求める。

その後、8会派から討論として決算議案に対する賛否の意見が表明され、引き続き採決を行った結果、一般会計決算、国民健康保険事業特別会計および後期高齢者医療事業特別会計決算は多数の賛成により認定。大船駅東口市街地再開発事業特別会計、公共用地先行取得事業特別会計および介護保険事業特別会計決算は、決算特別委員会で全会一致となった次の3つの意見が付されました。

避難行動要支援者への支援策として、具体的な避難方法についての個別避難計画を作成するとともに、崖崩れや浸水、津波など災害リスクが高い地域においては、地域の避難計画の作成が併せて進められることを求める。また、避難路整備が進んでいない現状において、命を守るための防

災対策の一層の充実を求める。
○文化的資産の保全・活用について
指定文化財に加えて、歴史や文化を伝承する遺構や建造物など、市内に点在する文化的資産に関し、保全・活用する体制の構築に向けた調整や、計画的な耐震化により、一層の市民利用および分散型観光の資産としての活用を求める。併せて、古都鎌倉にふさわしい文化財行政を進める上での政策や事業を打ち出す際には、行政としての説明責任を果たし、市民、議会の理解を十分に得た上で取り組むことを求める。

○子どもに関する取り組みについて
避難行動要支援者への支援策として、具体的な避難方法についての個別避難計画を作成するとともに、崖崩れや浸水、津波など災害リスクが高い地域においては、地域の避難計画の作成が併せて進められることを求める。また、避難路整備が進んでいない現状において、命を守るための防

一般会計決算等審査特別委員会委員(議席順)

委員長	池田 実 (夢みらい鎌倉)
副委員長	岡田 和則 (鎌倉アップデートチャレンジ)
委員	後藤 吾郎 (鎌倉のヴィジョンを考える会)
	中里 成光 (夢みらい鎌倉)
	くりはらえりこ (鎌倉かわせみクラブ)
	保坂 令子 (神奈川ネットワーク運動・鎌倉)
	志田 一宏 (自由民主党鎌倉市議会議員団)
	大石 和久 (公明党鎌倉市議会議員団)
	高野 洋一 (日本共産党鎌倉市議会議員団)



9月定例会では12件の陳情が提出されました。そのうち、2件を全議員に配付し、10件を各常任委員会に付託し審査を行いました。その後、本会議において2件を採択し、4件を不採択としました。また、3件を継続審査とし、1件を議決不要としました。結論が出た陳情の要旨および結果は次のとおりです。

【採択した陳情】

◇重度障害者医療費助成制度継続についての陳情

陳情の要旨 令和4年度予算編成に際し、重度障害者医療費助成制度について、透析患者ならびに全ての重度障害者が負担なく医療を受けられるよう、制度の継続ならびに条件に対する再検討を求めるものです。
委員会および本会議の結果 委員会は多数の賛成により、本会議は総員の賛成により採択しました。

◇司書資格をもつ正職員の新規採用に関する陳情

陳情の要旨 司書資格を有し、図書館の仕事に意欲を持つ技術職員の新規採用を行い、持続可能な図書館運営体制の構築を図ることを求めるものです。
委員会および本会議の結果 委員会は可否同数のため、委員長裁決により不採択、本会議は多数の賛成により採択しました。

【不採択とした陳情】

◇防災無線システム廃止の検討についての陳情

◇鎌倉市長の職務怠慢に関する調査及び問責決議についての陳情

◇旧国鉄大船工場跡地を含む深沢の鎌倉市所有遊休地の活用方法についての陳情

◇鎌倉市の深沢地域再開発計画(スポーツ施設計画エリア)に西鎌倉テニスクラブを存続させ同計画策定に参画させていただきたいとする案件についての陳情

9月15日開催 審査した内容(議案2件、陳情3件、報告事項9件)

報告事項 防災対策の取組状況について

災害時広報事業、災害対策本部機能強化事業、避難対策推進事業、防災活動事業、その他の各事業において、令和3年度(2021年度)は、防災行政用無線デジタル化の推進、高潮ハザードマップのホームページでの公開、土砂災害ハザードマップの更新およびホームページでの公開、避難所へのスポットクーラー・パーティションの配備のほか、さまざまな取り組みを行っているとの報告がありました。また、コロナ禍における災害対応など、これまでの対応を見直す必要があることから、国・県の動向を注視し、関係機関と連携しながら対策を進めていくとのことでした。

報告事項 大河ドラマの取組状況について

大河ドラマ館の設置に関して、予定施設である鎌倉文華館鶴岡ミュージアムの賃貸借について、所有者である鶴岡八幡宮と契約に向けた最終的な交渉・調整を行っており、また、同館の運営について、公募型プロポーザルにより事業者を選定し、契約締結に向けた協議を行っているほか、観光客分散化も踏まえ、大河ドラマに関連するゆかりの地の選定や、周遊ルートを選定に取り組んでいるとのことでした。

委員会では、SDGsの観点を取り入れた取り組み、経費削減や収益性、雇用促進や市内業者との連携、経済効果などに関する質疑が行われた後、報告事項について了承されました。

市民環境常任委員会

常任委員会

総務常任委員会

建設常任委員会

審査の一部を紹介します

教育福祉常任委員会

9月16日開催

審査した内容(議案2件、陳情2件、報告事項10件)

議案第24号 横断歩道橋維持修繕工事【小袋谷歩道橋】に関する協定の締結について

JR横須賀線をまたぎ、小袋谷二丁目3番先と三丁目4番先を結ぶ市道209-095号線である小袋谷歩道橋について、横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づく修繕工事を施行するため、東日本旅客鉄道株式会社と協定を締結しようとするもので、協定金額を4億2172万円、協定の期間を協定締結の日から令和6年(2024年)3月31日までとするものです。

当該修繕工事は、東日本旅客鉄道株式会社が所有する鉄道敷内および近接箇所で作業を行う必要があり、また、鉄道用電力の一時停止、駐車中の列車の移動および鉄道敷用の建設機械の使用など、専門的な作業を伴うため、同社に施行を委任するものであるとのことでした。

委員会では、業者の選定方法や金額の妥当性のほか、近隣に県道の小袋谷踏線橋が開通した中で、当該歩道橋の今後の必要性等について検討がなされたのかなどの質疑が行われた後、採決の結果、総員の賛成により可決されました。



小袋谷歩道橋

9月14日、30日開催

審査した内容(議案1件、陳情5件、報告事項7件)

報告事項 小学校給食の公会計化に関する取組状況について

市立小学校の給食費の徴収・管理を各学校長が行っていることについて、文部科学省から地方公共団体による徴収を基本とする取り組みを推進するよう通知があり、本市においても、教職員の負担を軽減し、かつ保護者の利便性向上および給食費の徴収・管理の効率化を図るため、令和4年度(2022年度)から学校給食費を市の歳入歳出予算に編入する「公会計化」を予定しているとのことでした。

現在、効率的かつ適正な実施に向けて、「小学校給食費管理システム」の導入を予定しており、これを活用した徴収管理や利用者への案内、督促等の業務を事業者へ委託する契約を締結するなど、準備を進めているとのことでした。また、給食費を本市が徴収する根拠となる条例案についての意見公募を9月に実施するとともに、今後、保護者および学校関係者等への丁寧な説明を行っていく旨の報告がありました。

委員会では、報告事項について了承されました。